NEXTry!
次々とハッピーの素をうみだす
ダイニチ新人業務日誌
Vol.3

「辞令」

4月1日、2人の新人は予定通り入社。配属された部署での奮闘がスタート。2人とも近隣エリアに転居し、ひとり暮らしもはじまりました。

ダイニチ
浦安市北栄 1-16-3
TEL.047-354-0123
http://dainichi.co.jp

「真っ直ぐ真ん中に」塚田圭祐 Keisuke Tsukada

▲塚田はリーシング推進課に配属

◆入社式を終えて
要望に直球で返す

不動産業にとって一番忙しい季節を乗り越えて、入社式を迎えました。

アルバイトをしていた部署、不動産営業部・リーシング推進課への配属ですが、社長から辞令を授与され、改めて身が引き締まる思いがしました。

ダイニチは、物件の成約チャンスを拡げるため、店舗を持たず、多数の仲介業者さまに物件のご案内をお願いしています。

リーシング推進課は、リーシングプランをたて、お部屋の情報の提供や、物件の持ち込み営業、問い合わせ対応などを行う部署で、仲介業者さまの窓口となるチームです。

一日も早く、業者さまのご質問やご要望に、どう真ん中に直球を返せるようになりたいです（大学野球部・ピッチャー出身）。

◆ひとり暮らしの新居にて
転居が実体験

部屋選びは、先輩が空き物件から何件か選んでくださり、「一番のおススメ」だったこの部屋を見て即決しました。広々として明るくて、駅にも近くて気に入っています。

転居して間もないので、まだ部屋にも慣れず、街のこともよくわかっていませんが、毎日ここに帰るうちに「我が家」になっていくのだと思います。

大学では食事付の寮にいたので、「自炊」が経済的にも栄養面でも課題です。

そんな経過も実体験として、これからの業務に役立てていければと考えています。

▲シンプルな住空間を保ちたい

「失敗をおそれない」小代隆志 Ryuji Ojiro

▲小代はDプライフ法人営業部に

◆入社式を終えて
三振覚悟で営業

先月は、まだ卒業のための試験勉強に必死な状況でしたが、無事試験に通り、ダイニチに入社できました！

配属は、グループ会社ディープライフの法人営業部。法人向けに、寮・社宅のコーディネートや体育会系人材の紹介・研修などをご提案する部署になります。

はじめて先輩の営業活動に同行させていただいた時は、革靴で長い距離を歩くだけでヘトヘトでした。走ることは得意なんですが、歩きに慣れることは最初の課題です。

大学時代、野球部ではショートで打順は3番でした。守備では先を読んで機敏に動き、バッターボックスでは、思いきってバットを振る、あんな気持ちで、失敗をおそれることなく、営業はもちろん業務に臨んで行けばと思っています。

◆ひとり暮らしの新居にて
収納術を研究

時間がなかったため、先輩から住所だけを教えていただき引っ越しました。学生時代を過ごした群馬のアパートから荷物をワゴン車に積み込んで、ワクワク気分で運転してきたのですが、結局半分くらいの荷物を実家に戻すことに。都会の賃貸物件の現実を身をもって体験しました。

でも、心地よい我が家にするのも自分次第ですから、収納術を研究して、限られたスペースを有効に使う技を磨いていこうと思います。

▲目指したのは実家の自室のくつろぎ